

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

第5次田上町総合計画（後期基本計画）のまちづくりの施策推進の目標で、健康でやさらかな暮らしの創造を掲げ、長寿時代のまちづくりに取り組んでいます。

本計画においては、より高齢化が進展することを踏まえ、高齢者の生活を取り巻く様々な課題に対する施策の方向性や、今後取り組むべき具体的施策を総合的に推進するものです。

地域包括ケアシステム概念を発展させ、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源がつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現をめざすまちの姿とし、第8期計画の基本理念は「高齢者が住み慣れた地域で、自らの健康を大切にし、自分らしい暮らしを続けることができるまち」を実現したいという思いを込めています。

高齢者自身が自分の健康は自分で守るという意識のもと、疾病等の早期発見・早期対応をする力を身につけ、さらに元気な高齢者が地域社会の一員として地域の担い手となりお互いに支え合う地域づくりを、住民と共に行っていきます。

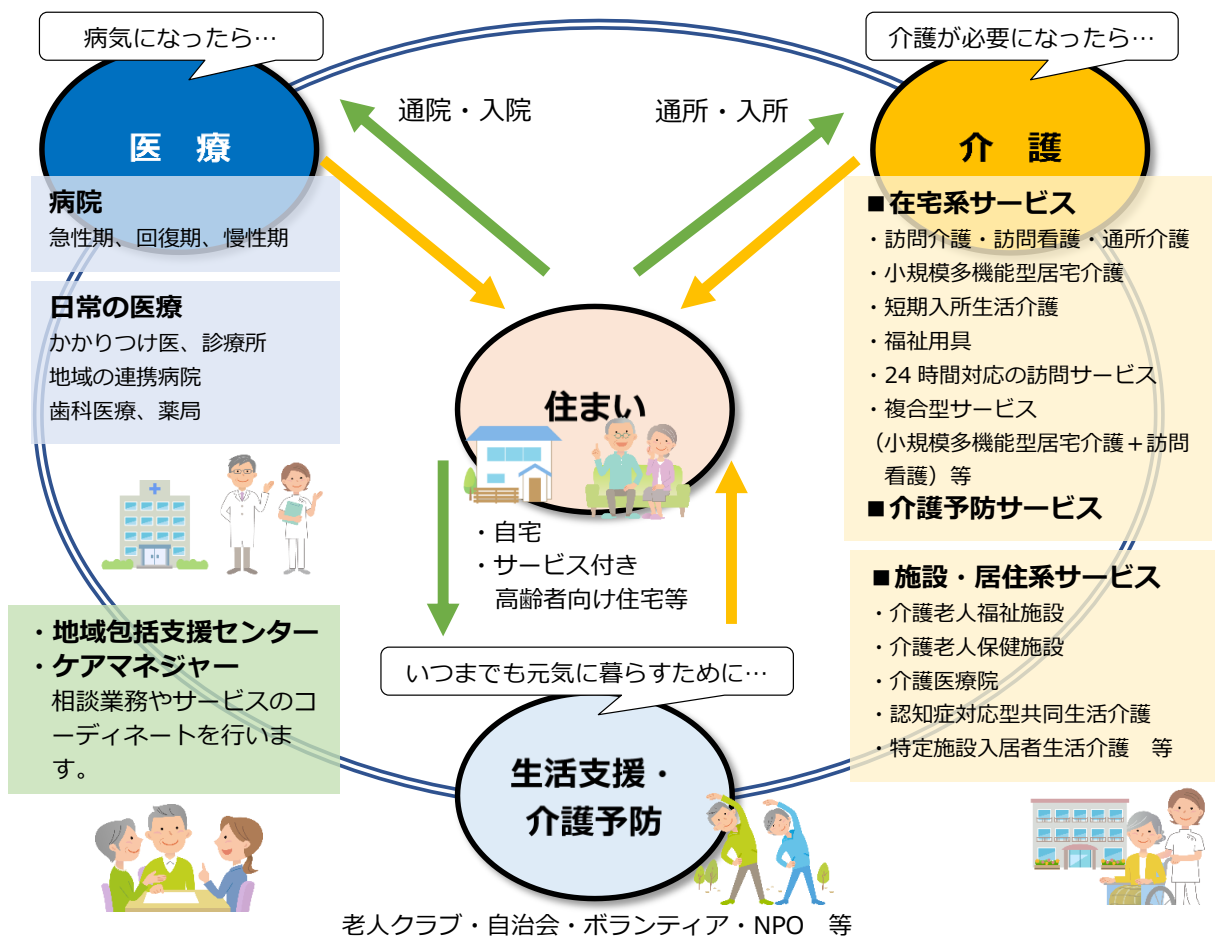
基本理念

高齢者が住み慣れた地域で、自らの健康を大切にし、
自分らしい暮らしを続けることができるまち

地域包括ケアシステムの姿

地域包括ケアシステムとは、住まいを生活の中心としながら、重度な要介護状態となっても、医療・介護・予防・生活支援が包括的・一体的に提供されることにより、住み慣れた地域で、できる限り元気で自立した自分らしい暮らしを安心して続けることができるような仕組みのことで、

また、地域包括ケアシステムの構築により地域共生社会の実現を目指すものです。



2 基本目標

高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることができるよう、身近な地域の中で、医療・介護・予防・住まい、生活支援が一体的に提供される仕組みづくりや介護者のニーズに応じた事業展開が必要となっています。そのため、地域住民や福祉に関わる事業者、医療関係機関、行政が連携しながら、高齢者の暮らしを支えることができるよう、地域のネットワークづくりを推進し、地域包括ケアシステムの深化・推進の構築に努めます。

本計画では、次の4つの目標を定めます。

(1) いつまでも、健やかな生活を送るための環境整備

《心と身体づくり》

高齢者が生きがいのある充実した生活を送るためには、心身の健康が重要です。そのため、自らの健康管理や健康づくりと介護予防に関する取り組みを推進するとともに、生きがいと社会参加の活動を積極的に促進し、高齢者が地域の担い手として活躍できるよう、地域活動、地域の人とのつながりの機会を支援します。

(2) 高齢者が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる地域づくり

《人にやさしい地域づくり》

高齢者ができる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい、生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの深化・推進を目指します。

(3) 介護福祉サービスの確保と支援体制の整備

《選択できる生き方の支援》

高齢者が抱える複雑化・複合化する支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、様々な関係機関との連携を図りながら、その人の生き方に沿った必要なサービスの整備を行っていきます。

(4) 安定した介護保険サービスの運営

《経済的負担の軽減》

介護が必要になっても、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、サービス基盤の整備を進めるとともに、介護人材の確保や質の向上に取り組み、介護保険制度の適正な運営に努めます。

3 日常生活圏域の設定

地域の要介護者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けながら生活できるように、町内における地理的条件、人口、交通事情、その他の社会的条件、介護給付等対象サービスを提供するための施設整備の状況等の条件を総合的に勘案し、日常生活圏域を設定して取り組むことが計画で求められています。

本町では地域全体で支えあっていくための基盤整備をする必要があることから今後も町全体を1圏域として、日常生活圏域を設定します。

4 施策の体系

